2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月10日

上場会社名　　品川リフラ株式会社　　上場取引所　東 札
コード番号　　5351　　ＵＲＬ　https://www.shinagawa.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）藤原　弘之
問合せ先責任者　（役職名）IR・広報部長　　（氏名）仮屋崎　勉　　ＴＥＬ　03（6265）1600
半期報告書提出予定日　　2026年11月11日　　配当支払開始予定日　2026年12月１日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	94,158	15.0	8,559	△15.9	4,100	△34.0	5,530	△20.4	6,283	43.9
2026年３月期中間期	81,843	20.0	10,176	24.2	6,212	△2.0	6,945	4.2	4,366	△11.1

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

（注）包括利益 2027年３月期中間期　　9,111百万円（60.9%）　2026年３月期中間期　　5,661百万円（△7.4%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	137.66	―
2026年３月期中間期	95.73	―

（注）2026年３月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2026年３月期中間期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	239,316	121,949	47.2	2,474.12
2026年３月期	231,818	115,925	46.1	2,343.45

（参考）自己資本　　2027年３月期中間期　　112,984百万円　　2026年３月期　　106,939百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	45.00	―	45.00	90.00
2027年３月期	―	47.00			
2027年３月期（予想）			―	48.00	95.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	198,000	11.4	22,000	△0.6	13,000	△4.5	14,000	△12.4	10,500	△59.7	230.10

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規　ー社　（社名）ー、 除外　ー社　（社名）ー

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	47,146,830株	2026年３月期	47,146,830株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	1,480,122株	2026年３月期	1,513,710株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	45,645,784株	2026年３月期中間期	45,614,374株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

決算補足説明資料は2026年11月10日（火）に当社ウェブサイトに掲載いたします。また、2026年11月25日（水）に機関投資家向けに決算説明会を開催する予定であります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10

１．経営成績等の概況

2025年５月30日（みなし取得日　2025年３月31日）に行われたReframax Engenharia S.A.（以下「Reframax」という。）との企業結合について、前中間連結会計期間において暫定的な会計処理を行っておりましたが、前連結会計年度に確定したため、前中間連結会計期間との比較分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、中東情勢の緊迫化や各国の金融・経済政策の動向などを背景に、先行き不透明な状況が継続しました。日本経済は物価上昇が続く中、雇用情勢の改善や設備投資の持ち直しなどを背景に景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、中東情勢や金融資本市場の変動などによる景気の下振れリスクには、引き続き留意が必要な状況にあります。当社グループの主要な取引先である鉄鋼業界においては、需要先である自動車や産業機械、建設関連の一部に持ち直しの動きが見られたことから、当中間連結会計期間の国内粗鋼生産量は前年同期比0.5%増の4,027万トンとなりました。

以上のような事業環境の下、当中間連結会計期間の当社グループのセグメント別の経営成績は以下のとおりとなりました。

＜耐火物セグメント＞

当社単体および海外関係会社の増収効果により、当中間連結会計期間の売上高は593億65百万円（前年同期比12.1%増）となりました。一方、セグメント利益は、高付加価値製品を中心とした拡販、価格設定の適正化および継続的なコストダウンに取り組んだものの、原燃料コストの大幅な上昇に加え、オランダのGouda Refractories Group B.V.（以下「Gouda」という。）および米国のShinagawa Advanced Materials Americas Inc.（以下「SAM」という。）における設備トラブルに伴う一時的な生産低下および修繕費の発生などにより、41億57百万円（同8.7%減）となりました。

＜断熱材セグメント＞

半導体関連分野をはじめとする主要市場における需要回復や、国内外での拡販活動による案件獲得の進展により、当中間連結会計期間の売上高は91億45百万円（同5.5%増）、セグメント利益は12億89百万円（同7.9%増）となりました。

＜先端機材セグメント＞

半導体製造装置向けファインセラミックス製品の販売増加により、当中間連結会計期間の売上高は25億24百万円（同29.4%増）となりました。セグメント利益は、瀬戸内工場の稼働に伴う減価償却費負担の増加があったものの、販売数量の増加により損失幅が大幅に縮小し、６百万円の損失（前年同期はセグメント損失94百万円）となりました。

＜エンジニアリングセグメント＞

前第２四半期より連結対象となったブラジルのReframaxの売上寄与により、当中間連結会計期間の売上高は238億46百万円（同29.0%増）となりました。一方、セグメント利益は、Reframaxにおいて主要顧客向け大型工事案件の施工時期が下期へずれ込んだことに加え、インフレ進行に伴うコスト上昇の影響により、13億75百万円の損失（前年同期はセグメント利益２億41百万円）となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の当社グループの経営成績は、売上高941億58百万円（前年同期比15.0%増）となりました。各段階利益につきましては、EBITDA85億59百万円（同15.9%減）、営業利益41億円（同34.0%減）、経常利益55億30百万円（同20.4%減）となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、Shinagawa Refractories Australasia Pty Ltdのクイナナ工場における土地収用に伴う固定資産売却益の計上により、62億83百万円（43.9%増）となりました。

なお、「その他」セグメントとして開示していた不動産賃貸事業は、前連結会計年度に主要な不動産賃貸資産を売却したため、当連結会計年度から廃止しております。その結果、当中間連結会計期間の不動産賃貸収入46百万円は営業外収益の「その他」に、不動産賃貸原価32百万円は営業外費用の「その他」にそれぞれ計上しており、セグメント利益又は損失には含めておりません。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は、「投資有価証券」及び「仕掛品」の増加を主たる要因として前連結会計年度末に比べ74億98百万円増加し、2,393億16百万円となりました。

負債は「短期借入金」及び「長期借入金」の増加を主たる要因として前連結会計年度末に比べ14億73百万円増加し、1,173億66百万円となりました。

純資産は「その他有価証券評価差額金」及び「利益剰余金」の増加を主たる要因として前連結会計年度末に比べ60億24百万円増加し、1,219億49百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間では、耐火物セグメントで原燃料コストの上昇やオランダのGoudaおよび米国のSAMの設備トラブルの影響を受けたほか、エンジニアリングセグメントのブラジルReframaxでは主要顧客向け大型工事案件の下期へのずれ込みに加え、大幅なコスト上昇により収益性が低下しました。

連結業績予想については、下期は価格転嫁の進展や設備トラブル影響の収束に加え、後ろ倒しとなった工事案件の売上計上ならびに各セグメントにおける販売拡大などにより、上期に発生した減益要因の解消が見込めることから、2026年８月10日の「業績予想および配当予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

また、配当予想についても、同日公表いたしました年間配当予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,355	21,819
受取手形、売掛金及び契約資産	49,781	46,452
電子記録債権	4,598	4,965
有価証券	5,243	4,940
商品及び製品	15,206	15,333
仕掛品	4,958	5,304
原材料及び貯蔵品	13,471	14,303
その他	2,817	3,609
貸倒引当金	△56	△56
流動資産合計	117,376	116,671
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,936	11,277
機械装置及び運搬具（純額）	15,969	16,209
土地	8,781	9,515
その他（純額）	11,248	13,160
有形固定資産合計	46,935	50,163
無形固定資産		
のれん	28,139	28,972
その他	20,926	21,116
無形固定資産合計	49,065	50,088
投資その他の資産		
投資有価証券	12,983	16,073
繰延税金資産	560	564
その他	5,031	5,891
貸倒引当金	△135	△136
投資その他の資産合計	18,439	22,392
固定資産合計	114,441	122,644
資産合計	231,818	239,316

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,361	17,853
電子記録債務	1,414	1,314
短期借入金	16,622	25,155
未払法人税等	14,937	947
賞与引当金	2,061	1,777
災害損失引当金	58	44
その他の引当金	320	240
その他	11,969	12,841
流動負債合計	66,746	60,175
固定負債		
長期借入金	22,391	24,508
退職給付に係る負債	817	847
その他の引当金	221	230
その他	25,716	31,604
固定負債合計	49,146	57,191
負債合計	115,892	117,366
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,300	3,300
利益剰余金	91,737	95,124
自己株式	△2,385	△2,332
株主資本合計	92,652	96,092
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,220	8,107
繰延ヘッジ損益	283	436
為替換算調整勘定	7,049	7,654
退職給付に係る調整累計額	734	694
その他の包括利益累計額合計	14,287	16,892
非支配株主持分	8,985	8,964
純資産合計	115,925	121,949
負債純資産合計	231,818	239,316

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	81,843	94,158
売上原価	61,628	74,477
売上総利益	20,215	19,680
販売費及び一般管理費	14,002	15,579
営業利益	6,212	4,100
営業外収益		
受取利息	409	422
受取配当金	191	193
持分法による投資利益	59	80
為替差益	651	1,381
その他	224	373
営業外収益合計	1,536	2,452
営業外費用		
支払利息	696	798
その他	107	224
営業外費用合計	804	1,022
経常利益	6,945	5,530
特別利益		
固定資産売却益	－	3,851
国庫補助金	240	－
特別利益合計	240	3,851
特別損失		
固定資産処分損	11	47
固定資産圧縮損	205	－
災害による損失	13	－
環境対策費	34	－
事業整理損	－	213
特別損失合計	265	260
税金等調整前中間純利益	6,919	9,120
法人税、住民税及び事業税	2,308	1,358
法人税等調整額	△69	1,641
法人税等合計	2,238	2,999
中間純利益	4,680	6,120
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に帰属する中間純損失（△）	314	△162
親会社株主に帰属する中間純利益	4,366	6,283

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	4,680	6,120
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	993	1,894
繰延ヘッジ損益	△62	153
為替換算調整勘定	70	980
退職給付に係る調整額	△27	△41
持分法適用会社に対する持分相当額	5	4
その他の包括利益合計	980	2,990
中間包括利益	5,661	9,111
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	5,427	8,889
非支配株主に係る中間包括利益	233	222

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	耐火物	断熱材	先端機材	エンジニアリング	計				
売上高									
外部顧客への売上高	52,921	8,120	1,950	18,388	81,380	462	81,843	－	81,843
セグメント間の内部売上高又は振替高	50	546	0	94	691	1	693	△693	－
計	52,971	8,667	1,950	18,482	82,071	464	82,536	△693	81,843
セグメント利益又はセグメント損失（△）	4,553	1,195	△94	241	5,895	284	6,180	31	6,212

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失の調整額31百万円は、セグメント間取引に係る未実現利益消去等であります。

３．セグメント利益又はセグメント損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

当中間連結会計期間において、Reframax Engenharia S.A.を連結の範囲に含めたことにより、「エンジニアリング」におけるのれんが9,131百万円増加しております。なお、当該のれんの金額は、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	耐火物	断熱材	先端機材	エンジニアリング			
売上高							
外部顧客への売上高	59,301	8,600	2,521	23,734	94,158	－	94,158
セグメント間の内部売上高又は振替高	64	545	2	111	723	△723	－
計	59,365	9,145	2,524	23,846	94,882	△723	94,158
セグメント利益又はセグメント損失（△）	4,157	1,289	△6	△1,375	4,063	36	4,100

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失の調整額36百万円は、セグメント間取引に係る未実現利益消去等であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．従来、「その他」セグメントとして開示していた不動産賃貸事業は、前連結会計年度に主要な不動産賃貸資産を売却したため、当連結会計年度から廃止しております。その結果、当中間連結会計期間の不動産賃貸収入46百万円は営業外収益の「その他」に、不動産賃貸原価32百万円は営業外費用の「その他」に含めて計上しており、セグメント利益又は損失に含めておりません。

４．前中間連結会計期間のセグメント情報は、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。